

ネオチューブ®

再使用禁止

【禁忌・禁止】

1. 再使用禁止
2. 本品を使用して採血した血液を人体に戻さないこと。[採血した血液の安全性は確保できていない。]
3. 本品による採血は耐圧性能を有するゴムスリーブ付採血針及び単回使用採血ホルダとの組み合わせ以外では行わないこと。
4. 採血管が室内温度に戻らないうちに採血を行わないこと。[採血管の温度により採血管内の圧力が変化し、採血管内の内容物等が患者の体内に逆流するおそれがある。]
5. 採血管を抜くまで、被採血者の腕の血管の圧迫を解除したり、動かしたりしないこと。[圧迫を解除した際、あるいは腕の配置によっては静脈血圧が急激に低下し、採血管内の内容物等が患者の体内に逆流するおそれがある。]
6. 採血管に血液が流入し始めた後は、採血ホルダに押し込むような力を採血管に加えないこと。[採血管内の圧力が変化し、採血管内の内容物等が患者の体内に逆流するおそれがある。]
7. 採血終了後、採血管に採血針が刺さったままの状態で駆血帯を外さないこと。[駆血帯を外すことによる圧力の変動により、採血管内の内容物等が患者の体内に逆流するおそれがある。]
8. 体外循環回路又は中心静脈から採血を行わないこと。[圧力の変動により、採血管内の内容物等が患者の体内に逆流するおそれがある。]
9. ホルダは患者ごとの使用とし、使用後は廃棄すること。[ホルダに血液が付着した場合は、交差感染のおそれがある。]

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造

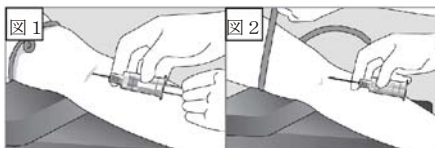
本品は各種臨床検査等に必要の血液等採取する器具で、ポリエチレンテレフタレート製試験管（PET管）、ゴム栓あるいはゴム栓とプラスチックキャップからなる。管内に種々の薬剤や部材を含む場合がある。
なお、本品はガンマ線滅菌済みである。

【使用目的又は効果】

血液検査のため、血液検体の採取、輸送又は保管に用いる。

【使用方法等】

1. 室内温度になった採血管を準備します。
2. 採血針の保護キャップを外し、ホルダに確実に固定します。また、ホルダと一体型の採血針を用いる場合は嵌合に緩みがないことを確認します。
3. 駆血帯をかけた後に、皮膚の消毒等を行います。
4. 採血針のプロテクタを真っ直ぐ引いて外し、血管へ穿刺します。また、ルーアチップタイプを用いる場合は他の医療機器と確実に接続します。
5. 採血管はPET管部分を押さえながらホルダに真っ直ぐ完全に押し込みます。規定量の血液が採れるまでこの状態を保ちます。（図1）
6. 採血の血流が停止したら、直ちに採血管をホルダから外します。
7. 取り外した採血管は、速やかにかつ穏やかに5～6回程度、転倒混和します。
8. 連続採血する場合は、ホルダを固定したまま採血管を取り替えます。
9. 採血終了後、採血管をホルダから抜去した後に駆血帯を外します。（図2）
10. 注意して採血針を抜去し、止血します。



<使用方法等に関連する使用上の注意>

1. 採血時の環境（血圧、温度）により採血量が変動する場合があります。
2. 転倒混和が不十分な場合、凝固促進剤入りの採血管では凝固不良が、抗凝固剤入りの採血管では血液凝固が発生するおそれがあります。
3. 転倒混和する際には、激しく振らないでください。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) 患者の腕及び採血管を採血中常に下向きにすること。
- 2) 翼付針チューブを使用して採血する際は、採血管の位置を上下に動かさないこと。
- 3) 翼付針チューブを使用する際、本品は2本目以降に使用すること。[必要な採血量を得られないおそれがある。]
- 4) 血清分離剤入りの採血管は、分離剤による隔壁形成後、極度の振動を与えることや、長時間の横倒しによる放置を避けること。
- 5) 血清分離剤入りの採血管は、隔壁形成後に再度遠心分離を行わないこと。[検査値に影響を及ぼすおそれがある。]
- 6) 遠心分離後の検体を凍結保存等する場合には、そのまま保存せず、血清や血漿を別容器に移し替えて保存すること。[検査値に影響を及ぼすおそれがある。]
- 7) ゴム栓を取り針付き注射筒より血液を移す場合には、誤穿刺に注意しながら注射針を取り去り、管壁に沿わせながらゆっくりと注入すること。
- 8) 使用期限内でも採血量が衰退するおそれがある。[採血管内部へ大気中の気体分子（窒素、酸素等）が浸透し、減圧度が低下する現象によるが、使用期限内における採血量は規格内であり性能に問題はない。]
- 9) 抗凝固剤EDTA-2Kを含む顆粒薬剤は、顆粒の一部が褐色に変色している場合があるが、品質に影響はない。
- 10) アルミ包装は開封後速やかに使用すること。[採血管内へ大気中の水分子が浸透し、採血管内の内容物が吸湿してしまうことで、外観上内容物が見えにくくなる現象が発生するおそれがあるが、検査値に影響はない。]

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

水ぬれに注意し、直射日光、高温多湿を避けて室温で保管すること。

2. 有効期間

包装の使用期限欄を参照のこと。
アルミ包装開封後、チャック付の場合はチャックをしっかり閉じて保管し、1ヶ月以内に使用すること。ただし、EAシリーズの場合はアルミ包装開封後1週間以内に使用すること。

有効期間：滅菌後0.5年、1年又は1.5年（自己認証による）

有効期間は管内の薬剤や部材により異なる。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売

ニプロ株式会社

電話番号：06-6372-2331（代表）

製造

ニプロ（上海）有限公司

[NIPRO (SHANGHAI) CORPORATION LIMITED]

中華人民共和国

[People's Republic of China]